

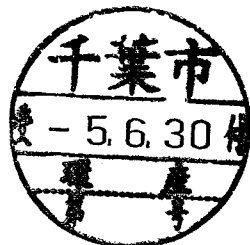
様式第一号（一）（第九条、第二十条及び第二十七条関係）

（第1面）

ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書（保管事業者及び所有事業者用）

令和5年 6月 30 日

千葉市長 殿



届出者
住所 千葉市中央区富士見2丁目3番1号
氏名 塚本総業株式会社
専務取締役 千葉支社長 平野 裕一
電話番号 043-227-3321

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法第8条第1項（法第15条及び第19条において読み替えて準用する場合を含む。）の規定に基づき、令和4年度のポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分の状況等を届け出ます。

1. ポリ塩化ビフェニル廃棄物について

保管事業場の名称	塚本大千葉ビル		
保管事業場の所在地	〒260-0015 千葉市中央区富士見2-3-1		
特別管理産業廃棄物管理責任者の職名及び氏名	ビル営業部 設備担当部長 長谷川 等	電話番号	043-227-3325
保管の場所	〒260-0015 千葉市中央区富士見2-3-1		

①前年度の3月31日に保管していたポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					処分予定年月	量		濃度区分	保管の状況				処分業者との調整状況	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等		台数又は容器の数	総重量 (1台当たり重量×台数)		容器の性状	囲い等の有無	分別・混在の別	漏れ等のおそれ		
令和2-①	蛍光灯安定器 コンデンサ- 単体	-		-	-	-		600	182kg (ドラム缶含)	高濃度	ドラム缶	無 (屋内)	分別	無	令和6年度 JESCO北海道へ 搬出予定	令和3年 に荷姿登録 を行い、正 確な総重 量・容器の 数が判明致 しました。 (数値は荷 姿登録と同 様です)
令和2-②	蛍光灯安定器 コンデンサ- 単体	-		-	-	-	600	166.5kg (ドラム缶含)	高濃度							
令和2-③	蛍光灯安定器 コンデンサ- 単体	-		-	-	-	600	157kg (ドラム缶含)	高濃度							
令和2-④	蛍光灯安定器 コンデンサ- 単体	-		-	-	-	600	147kg (ドラム缶含)	高濃度							
令和2-⑤	蛍光灯安定器 コンデンサ- 単体	-		-	-	-	600	153.5kg (ドラム缶含)	高濃度							
令和2-⑥	蛍光灯安定器 コンデンサ- 単体	-		-	-	-	309	100.5kg (ドラム缶含)	高濃度	ドラム缶	無 (屋内)	分別	無			
令和2-⑦	蛍光灯安定器 コンデンサ- 単体	-		-	-	-	690	186kg (ドラム缶含)	高濃度	ドラム缶	無 (屋内)	分別	無			

(第2面)

②前年度中に新たに保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類						量		濃度区分	保管開始年月日	保管開始理由	参考事項
		定格容量		型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台あたり重量 ×台数)				
X0013	蛍光灯安定器 コンデンサー 単体						安定器 26台 コンデンサ - 151台 汚染物 3個	107.5kg (ドラム缶含)	高濃度	R4.4.20	令和4年 発生 分析結果 判明しました。	令和4年 に荷姿登録を行 い、正確な総重 量・容器の数が 判明致しまし た。 (数値は荷姿登 録と同様です
L0-01	蛍光灯安定器 ガラ							210kg (ドラム缶含)	低濃度	R4.4.20		令和4年 発生 分析結果 判明しました。
L0-02	蛍光灯安定器 ガラ・充填材							168.5kg (ドラム缶含)	低濃度	R4.4.20		令和4年 発生 分析結果 判明しました。

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物（④の場合を除く。）

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度区分	保管終了年月日	保管終了理由	移動先の保管の場所並びに事業者又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台当たり重量×台数)					

④前年度中に自ら処分し、又は処分を委託したポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度区分	自ら処分した場合		処分を委託した場合			参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台当たり重量×台数)		処分年月日	処分後の廃棄物の種類及び処分先	処分委託年月日	処分受託者の名称	処分年月日	

(第3面)

2. ポリ塩化ビフェニル使用製品について

所在事業場の名称												
所在事業場の所在地												
ポリ塩化ビフェニル使用製品に係る事業の管理責任者の職名及び氏名									電話番号			
所在の場所												

備考

1. この届出書は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管、ポリ塩化ビフェニル使用製品の所有に係る事業場ごと作成し、毎年度6月30日までに提出すること。
2. 届出者や事業場に関する情報に変更があった場合には、速やかに都道府県知事に連絡すること。
3. 「保管事業場の名称」及び「保管事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の場所に係る事業場を記入すること。また、「所在事業場の名称」及び「所在事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル使用製品の所在の場所に係る事業場を記入すること。
4. 「番号」の欄には、それぞれ先頭に「前年度の元号数-」を加えた整理番号（平成28年度の保管状況を届け出る場合の例：28-001）を付すこと。なお、前回までの届出において既に当該事業場における番号が付されているものについては、引き続きその番号を記入すること。
5. 「廃棄物の種類」及び「製品の種類」の欄には、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること。
6. 「廃棄物の型式等」及び「製品の型式等」の欄には、変圧器（トランス）等の銘板に記載されている「定格容量」、「製造者名」、「型式」、「製造年月」及び「表示記号等」を記入すること。なお、「表示記号等」については、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること（例：不燃性油）。
7. 「処分予定年月」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を自ら処分し、又は他人に委託することを予定している年月を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物については記入しなくて構わない。
8. 「量」の欄のうち、「台数又は容器の数」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については台数（個数）を、その他のものについては保管している容器の数（缶数等）を、それぞれ単位とともに記入すること。ただし、電気機器であっても、小型のものを容器にまとめて保管している場合であって台数（個数）を把握することができないときは、保管している容器の数（缶数等）を単位とともに記入すること。
9. 「量」の欄のうち、「総重量」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については、1台当たりの重量に台数（個数）を掛けた重量を記載すること。その他のものについては、容器込みでの重量を記載すること。
10. 「濃度区分」の欄には、「高濃度」、「低濃度」又は「不明」のうち該当するものを記入すること。なお、「高濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品の略称、「低濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物以外のポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品以外のポリ塩化ビフェニル使用製品の略称である。
11. 「保管の状況」として、新たにポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況を届け出る場合や、既に届け出たポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況に変更があった場合には、保管しているポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管状況の分かる写真を本届出に添付すること。
12. 「保管の状況」の欄のうち、「容器の性状」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している容器の有無、容器がある場合にはその種類を具体的に記入すること（例：「ドラム缶」、「なし」）。
13. 「保管の状況」の欄のうち、「囲い等の有無」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している場所の周囲の囲いの有無及び保管に係る掲示板の有無を記入する